

クラブテーマ 「一人ひとりが輝こう」  
出会いと絆を大切に

会 長：北 健 司 例会日：金曜日 12:30~13:30  
副 会 長：加藤久仁明 例会場：ホテルプラザ勝川  
副 会 長：伊藤 一裕 事務局：春日井市鳥居松町 5-45  
幹 事：青山 博徳 TEL:(0568)81-8498 FAX:(0568)82-0265  
会報委員長：柘本 正樹 E-mail : ksgi-rc@gaea.ocn.ne.jp



<ピース>

本日のプログラム

<インターシティミーティング>

- ・名刺交換会
- ・点鐘
- ・国歌「君が代」
- ・ROTARYSONG「奉仕の理想」
- ・開会の言葉
- ・歓迎の言葉
- ・来賓・特別出席者・参加クラブ紹介
- ・主催者挨拶
- ・各クラブ奉仕活動紹介
- ・基調講演 宗次徳二様
- ・次年度ガバナー補佐紹介・挨拶
- ・次年度ホストクラブ紹介・挨拶
- ・閉会の言葉
- ・点鐘

2020年2月22日(土)2434回(2月第2例会)

1939年にドイツ、イタリア、アメリカにその芽が送られてそれぞれの国でも栽培が始まりました。

ドイツではこれをグローリア・デイ(Gloria Dei)「神の栄光」と言う名で、イタリアではジョイア(Gioia)「幸福」と言う名で紹介され、いずれも好評を博します。

アメリカでは1945年にロバート・パイル(Robert Pyle)がベルリン陥落を記念して本品種をピース(Peace)と命名して大好評を博します。彼はこの年の国際連合の初会合において『このバラはベルリン陥落の日に「ピース」と名付けられた。われわれはこの平和のバラが人々の胸に世界平和を永久に印象づけることを希望する』との言葉と共に、参加49カ国の各国代表の部屋に本品種を1輪ずつ届けたとされています。

この品種が日本に入ったのは1949年であります。その前年、後に日本を代表するバラ育成家となった鈴木省三は、空襲で焼け残った東京銀座のビルの一隅で戦後初のバラ展を開催します。戦後の日本が平和を取り戻した象徴として好評を博します。そしていよいよ翌年の1949年、横浜で開催されたバラ展に日本で初めて生のバラの花を披露します。まだ民間の航空輸送が確立されていなかった時代に、米軍の輸送機でアメリカから特別に運ばれたものでありました。これまで見たこともない素晴らしい花で多くの国民を驚かせ一世を風靡します。その後「ピース」という名のもとに『20世紀を代表する名花』として今も世界中の人達に愛されています。

春日井市の植物園で開催しています春日井バラ展にも開花のタイミングが合えば必ず展示をするように心がけています。ご覧いただければ幸いです。

本日はこれで会長挨拶とさせていただきます。ご静聴ありがとうございました。

先週の記録

会長挨拶 会長 北 健司君

「ピースについて」

皆様こんにちは。今日も例会への出席、ありがとうございます。本日は久しぶりにバラの話をしたいと思います。2月の会報の写真のバラは「ピース」(Peace)と言います。この花には素晴らしいエピソードがありますのでお伝えしたいと思います。

いわゆるハイブリッド・ティーという系列に属します。本品種は1945年作出となっていますが、実はフランスの名門育種家のフランシス・メイアンによって1937年に作出され、これまでにない豊かで美しいこのバラに、敬愛する母親の名を取り「マダム・アントワヌ・メイアン」(Mme. Antonie Meilland)と命名されました。

平和と紛争予防/紛争解決月間

	2月28日(金)	3月6日(金)	3月13日(金)	3月20日(金)
例会	祝福	第9回理事会 11:15~	祝福	
予定	卓話 日本セーリング連盟 柴沼 克己様	卓話春日井市長伊藤 太様 第5回クラブ協議会	卓話 内藤 修久君 廣瀬 清司君	休会(定款8-1)

## 幹事報告

## 幹事 青山 博徳君

第8回理事会は下記の内容に決しました。

第1号議案：開始貸借対照表並びに1月度収支承認の件 可決承認されました。

第2号議案：2020～21年度委員会組織及び配属の件 原案通り可決承認されました。(例会時に組織図配布)

第3号議案：2020学年度米山奨学生世話クラブお引き受けの件

コ・ヒンナンさん(中国 湖北省)カウンセラーは小川茂徳君に決定しました。

第4号議案：中部経済新聞・尾張分区RC・LC 広告協賛の件

他のRC動向を参考にしつつ今回は見合わせ

第5号議案：春日井市交通公園RCモニュメント改修の件

原案通り可決承認されました

第6号議案：6月度最終例会日程変更及び公開セミナー開催の件

6月19日を最終例会(夜間)とし  
6月20日の公開セミナーを本年度最終事業とします。

第7号議案：わいわいカーニバル協賛の件  
提案通り前年同様の協賛内容とします。

第9号議案：4月吉野千本桜例会開催の件  
原案通り4月10日実施致します。

第10号議案 地区研修・協議会参加登録の件  
担当役員・新会に対し例年通りクラブ負担で登録します。

第11号議案 全国高等学校剣道選抜大会協賛の件  
例年同様1口を協賛いたします。

## 出席報告

## 委員長 藤川 誠二君

会員 54名	欠席 11名	出席率 79.6%
先々週の修正出席	欠席 3名	出席率 94.4%

## ニコボックス委員会

## 委員長 梅村 守君

○風岡君を歓迎して 北 健司君  
 ○写真展よろしくお願ひします 和田 了司君  
 ○風岡君の入会おめでとうございませう。会員増強委員会からお願いがあります。続きはこの後で 下田 育雄君

○風岡君入会おめでとう。

峠君、村瀬君の卓話楽しみです。

青山 博徳君	伊藤 一裕君	稲垣 勝彦君
梅田 英夫君	梅村 守君	大西 信之君
大原 泰昭君	加藤久仁明君	加藤 茂君
加藤 宗生君	川瀬 治通君	芝田 貴之君
清水 勲君	社本 太郎君	宅間 秀順君
朽本 正樹君	内藤 修久君	長曾 篤志君
成瀬 浩康君	西村 輝幸君	野浪 正毅君
場々大刀雄君	速水 敬志君	廣瀬 清司君
藤川 誠二君	古屋 義夫君	松尾 隆徳君
三上 努君	水上 耕一君	村瀬 昌史君
屋嘉比良夫君	山田 治君	

○ご協力ありがとうございます。

## ニコボックス委員会

## 風岡明憲君の紹介者挨拶 会長 北 健司君

本日、風岡明憲君(かぜおか あきのり)を紹介できることを大変光栄に思います。私個人としては風岡明憲君とは世代も違い、特別に何もありませんが、2011-12年度の風岡保広会長の元で幹事を務めさせていただきましたご縁で、周りが私に風岡明憲君の紹介者として指名してくれたのだと思います。風岡明憲君は平成23年度のJCの理事長を歴任の後、平成25年度のロータリーでいう所の地区ガバナーに当たります、JCの東海地区愛知ブロック協議会会長を果たされました。また平成29年6月より家業の昌和工業株式会社の代表取締役社長として立派に事業を引き継がれています。一昨年の暮れに逝去された風岡保広君の立派な後継者であり、御子息を本日ここにロータリアンとしてお迎えしたいと思います。皆様宜しくお願いします。

## 卓話

## 峠 テル子君

(株)名晃社員の「人間力の昇華」への展開過程  
サブテーマ=～継続は力なり

本日の例会で卓話をさせていただきますことに感謝申し上げます。ある日息子が小学校から泣いて帰ってきました。「どうしたの?」と聞きますと、「お前ん家、ゴミ屋だろう!臭いだよ、汚いんだよ、近寄るなよ」と言って近寄ってきて叩かれるなど、虐められたと言います。この言葉を聞いて、息子に、社員さんたちに、その奥様に、子どもさんに、今までそのような虐めに対する配慮が足り無かったことを猛省しました。それから「廃棄物業界のイメージを変えたい」との一心です。社員の人間力を育成するための7つの挑戦の履歴です。

①昭和50年:自分自身を整える(身なりを整え、丁寧な言葉使い、笑顔を絶やさず挨拶の励行) ②昭和60年:5Sの徹底 ③平成10年:利他の精神の醸成 ④平成20年(平成19年に倫理法人会入会)「職場の教養」を師として読み込む(社員全員が当番制で感想文の提出) ⑤平成25年:労働時間短縮+経費削減 ⑥平成25年:場(会議)を仕切る力の醸成、を掲げ常に振り返りながら社員全員と共に現在も取り組んでおります。しかし実行は難しく、その都度原点に戻り廃棄物に「ご苦労様でした!」と笑顔で、大きな声で明るく挨拶するよう奨励しました。15年経過した現在では、先輩の姿を真似して新入社員もすぐに慣れて実行しています。収集する前に笑顔と大きな声で廃棄物置場に「ご苦労様でした!」と挨拶すると廃棄物から「有難う」と返事が聞こえた気持ちになり、廃棄物置場をもっと綺麗にしようという気持ちになる、と私にニコニコ笑顔で報告してくれます。この感謝の気持ちがボランティア活動の原点となりました。様々なことに社員たちは、気づきます。地域住民を巻き込みお客様からのお礼の貼り紙に感動を貰い、感動を返しています。ここで「廃棄物業者はきれい!」を実感するに至りました。できない事、不可能なことへ社員たちは自主的に挑戦し、お

陰様で、労働時間の短縮が出来、2019年4月から計画有給も完全に取得出来ております。今、SDGsへの取り組み中です。「社員一人一人が出来ること」を17項目書き出し、次にそれを「4部署全員で取り組めること」にまとめ、全員で活動を始めました。また、会社の中間処分場に廃棄物を溜めたく無いと中間処分場の現場社員が決意新たに「廃棄物業者の非常識は、未来のあたりまえに」を発信し、「配車担当、運輸社員、中間処分場の3者の協力が必要」と実現に向け声を上げました。社員の人間力育成の成果は、①社員自ら「仕事に生き甲斐と働き甲斐をつかむ」②労働時間短縮とコスト削減への挑戦で黒字経営の継続中 ③定年後地元で、安心して生活するための社会との繋がりに自信が出来つつあります。

2019年10月14日に発生した台風19号により、長野県千曲川堤防が決壊し、災害廃棄物処理支援活動に岐阜県知事の要請を受け、10月24日から26日の1週間、社員（Yさん）1名とクレーン車1台を送り出しました。Yさんより毎日LINEで現況報告がありそれに「怪我、事故を起こさないでね」「我らの代表で行ってくれて有難う」「元気で帰ってきてね」等友情の言葉が飛び交っておりました。帰社したYさんに私が「本当に有難うございました。大変だったでしょう？」と言いますと、「僕はプロですから」と胸を張っての言葉に「凄い！そのように意識している社員は他におりますか？」の私の問いかけに「全員です」と返事が返ってきました。感動しました。

それから2週間後にYさんが「社長、お話があります」と事務所に来て「僕この会社を2カ月後に辞めさせていただきます。アウトドア用品店の会社を友達と立ち上げます」と言われ言葉に詰まってしまいました。「わかりました」と言ってから気を取り直し、「プロと言えるほどの社員を引き留めるだけのものと魅力のある会社になければ社員たちに申し訳ない」と自分自身を奮い立たせた次第です。最後になりますが、仕事が終わったら、業務車に「今日も無事故で終われました！有難うございました」と一礼して社員たちは家路につきます。後には、一寸のズレもなく業務車の顔が誇らしげに、横から見たら一列に整列しています。ご清聴、有難うございました。

## 卓話

### 村瀬 昌史君

こんにちは。昨年の11月に入会させていただきました、東海東京証券（株）春日井支店に勤務しております 村瀬 昌史 と申します。本日は、このような卓話のお時間をいただき、ありがとうございます。春日井ロータリークラブに入会してから、約3ヶ月が経過いたしました。まだまだ皆様方と深く親睦が図れているわけではありませんが、本日の卓話で、自己紹介をさせていただき、少しでも私の今までの生い立ちなどを知っていただき、今後、皆様方と、より深く親睦が図れるようになればと思っております。私は、昭和45年に愛知県の知多半島にあります東海市で生まれ、現在、49歳になります。現在は、東海市の実家に、母、妻、今年大学3年生に

なる長女、大学生になる長男の5人で住んでおります。地元の東海市の小学校・中学校・高校を卒業し、大学も地元の愛知学院大学に入学いたしました。平成4年4月に、現在の会社の前身の会社である東海証券（株）に入社し、鳴海支店に配属になりました。その後、名古屋支店に8年、岡山の岡山支店に4年半、大阪の大阪支店に2年半、愛知の一宮支店に3年、愛知の豊橋支店田原営業所に2年、山梨の甲府支店に1年半、そして現在の春日井支店に勤務して、5ヶ月目になりました。ロータリークラブには、豊橋支店田原営業所の時に、田原パシフィックロータリークラブに在籍し、会場委員として活動し、前任地の甲府支店では甲府ロータリークラブで会報委員として活動しておりました。私は、生まれた時から名古屋支店に在籍していた36年間、愛知県外で生活をしたことがありませんでしたので、地元の愛知を離れ、岡山や大阪、甲府などで仕事をすることができたのは、愛知県での生活・営業しか知らなかった私にとっては、他県での言葉遣いや人間関係、文化の違いなど、いろいろと貴重な経験をする事ができ、またプライベートの充実にもつながりました。前任地の山梨県甲府では、ワインに、はまりました。甲府に行くまでは、ほとんどワインを飲むことはありませんでしたし、お店のメニューにワインがあっても気が付かないぐらい興味もありませんでした。ところが、甲府では、ほとんどのお店に地元の山梨産のワインメニューがあり、自然と飲む機会が増えるようになりました。ワイナリーを経営されているお客様、ブドウの栽培をされているお客様から、幾度となくワインをいただきました。1升瓶に入ったワインがある事を知ったのも山梨でした。また、山梨のもう一つ印象に残っているのは、ゴルフ場です。私は、ゴルフは好きなのですが、スコアよりもハーフ終了後の食事を楽しみにしている気がします。山梨でいくつか行ったゴルフ場は、甲府駅近くの単身赴任の自宅から、車で約30分ぐらいで行くことができ、とても景色が良いところが多かった印象です。いくつかのゴルフ場のティーグラウンドでは、富士山を見ることができ、とても感激した覚えがあります。甲府に在籍していた1年半の間、甲府ロータリークラブや山梨経済交友会のゴルフ同好会に入会させていただいていたこともあり、何度もゴルフ場へ足を運びましたが、スコアが上達することはありませんでした。お菓子やケーキで有名な「シャトレゼ」が経営しているゴルフ場では、食事の際に、無料でシャトレゼのケーキやお菓子、サラダなどが食べ放題になるサービスがあって、山梨県外から来た私には、とても新鮮な気分です。楽しみにゴルフ場に行くことが出来ていました。話は、変わりますが、私の人生の中で大きな影響を与えたのは野球です。物心ついたころから、地元中日ドラゴンズのファンになり、今も中日ファンであります。私は、小学校の時は、地元の少年軟式野球チームに入り、学校から帰ると、毎日、近所の友達と野球をし

て遊び、土日祝日は少年野球チームでの練習と試合の日々を送っていました。小学校3年生の時に、利き腕の右腕を肉離れしたにもかかわらず、野球をして遊んでいたところ、ボールを投げた時に右腕を骨折してしまいました。1ヶ月ほど入院し、完治した後は、また野球に明け暮れる日々を送っていました。小学校5年生の時には、ピッチャーをすることになり、初めてエースとしてマウンドに上がることになりました。試合最初の打者に投じた際に、また右腕を骨折してしまいました。1ヶ月ほどで骨折は治ったのですが、レントゲンを撮ると、骨がきれいに接続できておらず、医者から右腕で投げるとまた骨折することになるので、野球はもうできない、と診断されました。今まで、野球しかやっていた私にとっては、衝撃的な事でした。もう、野球ができなくなると思う間もなく、右腕がだめなら、左腕があると決心し、左腕で投げる練習を始めました。今度は、左腕で投げる野球漬けの毎日が始まりました。小学校6年生から、本格的に左腕で投げるようになりましたが、1年間ぐらいは上手に投げられませんでした。中学校に入った頃ぐらいからは、自然と投げられるようになりました。高校に入り、本格的に硬式野球をすることになり、硬式野球の魅力に取りつかれました。硬式ボールが、金属バットの芯当たり、遠くまで飛んでいく感覚は今でもよく思い出します。高校では、全尾張大会という愛知県内の地区大会で優勝することができました。3年生の夏の大会が終わると、大学から野球での特待ではありませんが、推薦入学の案内をいただきました。当然、大学に合格するものであると思っていた3年生の11月初旬、自宅に推薦入試の合否結果が郵送されてきました。結果は、不合格でした。この時、野球一筋であった今までの人生が、大袈裟ですが、今後変わっていくのだらうと思いました。運よく、大学に入学する事が出来て、現在の会社に就職し、今に至っております。今、私がこうして現在の仕事をしているのも、野球一筋の道を歩んでいたからこそであると思っています。大学に入って、野球を続けていたらどうなっていたら、社会人野球をすることになっていたらどうなっていたら、ふと思う時もあったりしましたが、今は現在の仕事が天職であると思っています。野球とは、ほぼ無縁の証券会社ですが、日々、いろいろなことが世界中で起こり、様々な変化球が投げ込まれてくるマーケットを相手にして、日々、真剣に、確実に、丁寧に、「ヒット」を打ったり、「送りバント」をすることを目指して頑張っております。野球を通して、培った精神力や、あきらめず努力すること、日々一歩でも前に進む意識は、現在の仕事に役立っていると思います。現在は、長男も野球をやめてしまったため、よりどころがなくなりましたが、好きではあるものの上達しないゴルフに熱を上げようと考えています。ロータリーの皆様との出会いを大切に、今後もロータリー活動に精進してまいりますので、ご指導ご鞭撻の

ほどよろしくお願いいたします。



新入会員挨拶 風岡 明憲君



卓話 峠 テル子君



卓話 村瀬 昌史君